

ご協力ありがとうございました

9月に行いました保護者アンケートには、御協力ありがとうございました。集計結果や御意見をもとに、今後の学校運営に生かして参りたいと考えております。

なお、アンケート集計数値結果については王司小ホームページへ掲載しています。御覧ください。



数値集計結果

おおきな学び関係 設問1~4

() 内の数は、児童アンケートにおける肯定率

設問1 お子さんは、自分の考えを友だちに説明したり、文章に書いたりすることが身についている。

→ 肯定率約72% (81) です。今年度の昼学は、毎日15分間設定されており、表現力の育成をめざす取組として、水曜日の「話す活動」、金曜日の「書く活動」があります。これまでは、コロナウイルスの影響による授業の遅れを取り戻す日々でしたが、10月より本来の取組へ切り替え、スピーチやフリートーク、百マス作文や視写等を通して、表現力の育成を図っていきます。

設問2 お子さんは、授業内容がわかっている。

→ 肯定率約85% (84) です。学習のめあてを提示して学習を進め、学習内容が身についたか確認することができるよう、振り返りを書いたり練習問題に取り組んだりすることを重視するなど、今後も授業改善に努めていきます。学習環境の充実や学習習慣の定着を図るための「学びのてびき」の見直しも進めています。

設問3 お子さんは、毎日、家庭学習をしている。

→ 肯定率約79% (87) です。家庭学習の習慣は、学力をつけるだけでなく決められたことをきちんとする力も育まれるため、保護者の方と協力しながら今後も粘り強く指導していきます。また、「苦手なところを自学ノートに学習していくことで克服につながるのでは」という御意見もいただいています。自学の取組では、学期に1冊以上終わらせることを目標にしています。自主学習の質も高められるように努めていきます。

設問4 お子さんは、本を読むことが好きである。

→ 肯定率約52% (81) です。児童アンケートの結果と比べると、保護者の肯定率が低い項目です。漫画を含むか含まないかの違いもあるかもしれませんが、学校では、月曜日の昼学は「読書」の時間に行っています。読書に親しむという習慣が身につくよう、今後も学校と家庭とで連携して取り組んでいきます。

うつくしい心関係 設問5~7

設問5 お子さんは、家庭や地域で、あいさつをする習慣が身についている。

→ 肯定率77% (93) です。「朝、交通委員にはあいさつするが、他の人にはあまりしない」「あいさつをできない子が多い」といった御意見をいただいています。子ども達は、知っている人に一人にでもあいさつをすれば「できている」という感覚なのかもしれません。あいさつの意義を子どもたちにしっかりと伝えていくとともに、大人が模範となるべく、学校、家庭、地域とで連携して取り組んでいきます。

設問6 お子さんは、友だちや周りの人たちに思いやりの心をもって接している。

→ 肯定率91% (95) です。児童、保護者ともに肯定率の高い項目です。しかし、「いじめ0」を目指すことを考えると、肯定率100%にしたい項目です。日々、トラブルは起きていますが、重大ないじめにつながらないように、全職員で未然防止・早期対応に努め、指導を続けていきます。併せて、道徳教育を中心に子ども達の心の教育をしっかりとしていきます。

設問7 お子さんは、物を大切に扱い、整理整頓をする習慣が身についている。

→ 肯定率約51% (91) です。児童アンケートでは「掃除」についての設問になっているため、一概に比較はできませんが、保護者の肯定率が低い項目です。全教育活動を通して、子どもに模範を示しながら根気強く指導を続けていきます。家庭とも連携して取り組んでいきます。

しょうぶな体関係 設問8~9

設問8 お子さんは、晴れた日はすすんで外遊びをしている。

→ 肯定率61%(80)です。児童アンケートにおいて最も低い値を示した項目です。ゲームや動画配信の普及、熱中症への心配、遊ぶ仲間や場所の減少、今年度は、新型コロナウイルスの影響等、要因はいろいろあると考えられます。体育の学習において、運動場で十分に体を動かす時間を確保するとともに、晴れた日は、しっかりと外で遊ぶよう声かけをしています。

設問9 お子さんは、エチケット3点セット(ハンカチ、ティッシュ、つめ)に気をつけて生活している。

→ 肯定率約80%(92)です。毎朝各学級でチェック、週毎に保健委員会が集計をし、お昼の放送で結果を伝えています。低学年の定着率が低いようです。今後とも家庭との連携の基、意識付けを図っていきます。また、ハンカチを持ってきていても手洗いの際等に使用していない子がいます。この点についても併せて指導していきます。

本校の課題関係 設問10~14

設問10 お子さんは、早寝・早おき・朝ごはんの習慣が身についている。

→ 肯定率約82%(83)です。昨年度(77%)と比べると肯定率が高くなっています。家庭での指導が大きく影響を及ぼします。学校でも、規則正しく生活することの大切さについて、養護教諭と連携しながら、繰り返し子ども達に伝えていきます。

設問11 お子さんは、話をしっかり聞こうとする習慣が身についている。

→ 肯定率は約69%(91)です。保護者の肯定率に加えて、教職員の肯定率も低い(42%)項目です。全教育活動を通して、聞くことの大切さを伝えていきます。水曜日の昼学「話す活動」を中心に、聞く態度として「話し手の方を向く」ことが身につくよう指導を続けていきます。

設問12 お子さんは、夢や目標をもってがんばっている。

→ 肯定率約57%(87)です。保護者の肯定率が低い項目です。子ども達が密かに抱いていたたり、漠然と掲げていたりしている夢や目標もあるかもしれません。また、夢や目標を掲げてはいるが、その達成に向けてがんばる段階にまでは達していない子もいるかもしれません。将来、子ども達が希望をもって夢や目標を追い求めていくことができるよう、一人一人のよさや可能性を大切に教育活動に取り組んでいきます。

設問13 本校は、体験的な学習や地域の特色を生かした教育活動を行うなど、コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校づくりを推進している。

→ 肯定率約77%です。昨年度(83%)と比べると肯定率が低くなっています。今年度は、新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止になったことも要因として考えられます。「王司地区ふるさと協育ネット」や「たんぼぼのはら」を中心に、子ども達のためにいろいろな取組が用意されています。肯定率90%以上をめざして、今後も推進していきます。

設問14 本校は、学校だよりやホームページなどを通して、学校の方針や情報を分かりやすく伝えている。

→ 肯定率約84%です。「ホームページに配布物のPDFがリンクされていてとても助かる。(中略)今後も活用させていただきたい」という御意見をいただいています。さらに、保護者や地域の方々からのニーズに応える情報を発信していけるよう努めています。

その他

登校班について、以下のような御意見をいただいています。

- ・ 班の列が乱れている(長い)。
 - ・ 班長に印がないので誰だか分からない。
 - ・ 通学する際、上級生の児童は、下級生のペースに合わせて歩いてほしい。ペースが速く、ついていけないと上級生の子から叱られるため、登校班での登校を嫌がっている。
- 登校班は、子ども達の安心・安全な登下校を目的としています。登校班における事案については、適宜指導していきます。

他にも、学習、読書、行事、ホームページ、PTA活動、地域連携等、いろいろと御意見をいただいています。学校に対する疑問や御意見については今後も検討を重ね、関係機関とも連携を図りながらよりよき方向へ改善していきたいと考えています。運動会についても、以前より数多く寄せられておりました御意見を基に、来年度は5月22日(土)開催の予定です。今回も貴重な御意見いただき、今後PTA役員の方々をはじめ関係者と協議を重ねながら計画していきたいと考えています。今後もお気づき等がございましたら、御意見をお聞かせください。